

マナス空港近代化事業



本事業により調達されたローディングブリッジ

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	5,454百万円 / 5,336百万円
借 款 契 約 調 印	1996年6月
借 款 契 約 条 件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2001年7月

[事 業 概 要]

キルギスの首都空港であるマナス空港を整備・近代化することにより、同空港の安全性を高めるとともに、国際空港としての機能を向上させ、キルギスの経済発展に寄与するもの。

[評 価 結 果]

本事業により、旅客施設、航空援助施設、及び照明設備の設置など、マナス空港の整備・近代化が実施された。事業範囲が計画時より縮小されたが、これは入札金額が予算超過となったため、空港の安全性向上を優先に事業範囲を見直し、航空管制設備、ユーティリティ等を事業実施対象外としたためである。本事業完成後、マナス空港は国際民間航空機関(ICAO)基準に適合した空港として運用が可能となった。また、航空援助施設等の更新により、欧州航空会社による国際路線が増加し、国際空港としての機能も大幅に向上したことから、計画時の事業目的は概ね達成されたと評価される。

本事業の実施機関は2001年に分割民営化され、国営キルギス航空からマナス空港会社になったが、このマナス空港会社は現在も組織改革中である。今後持続的・自立的に施設運用を行うには、同社の組織面、人材・技術面、財務面でのさらなる改善が望まれる。